

第19回運営企画検討会	資料4
書 面 開 催	

令和3年度の事業計画

長崎祈念館 1頁～8頁

令和3年度 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の事業計画

1. 原爆死没者の氏名・遺影の収集状況【資料2、P1参照】

○原爆死没者の氏名・遺影の登録を推進する。

今年度は、長崎市と協力・調整して、葬祭料申請の際、ご遺族の許可を得て、死没者の情報提供をしてもらうこととする。また、長崎県に協力依頼して、県内の各自治体に遺影申込書に配布してもらうこととする。

○原爆死没者の氏名・遺影の登録に際し、被爆者（特に身寄りのない方など）から問い合わせがっている生前登録について検討する。

2. 企画展の開催【資料2、P2参照】

○引き続き、テーマを定め、祈念館が収集所蔵する被爆体験記などの中からテーマに沿った体験記を選定し、昨年度に引き続きオンライン上で公開し、特設コーナーを設置する。

○令和3年度被爆体験記企画展

タイトル未定（期間未定）

3. 被爆体験記執筆補助【資料2、P2参照】

○引き続き、体験記の執筆が困難な被爆者を対象として、職員が聞き取りと代筆を行ない、館内の手記・体験記閲覧室やオンライン上で公開する。

○今年度は長崎県原爆被爆者援護課の協力を得て、長崎市を除く県内6,000人の被爆者の方に、体験記寄贈ならびに執筆補助、証言映像への協力依頼の呼びかけを実施する。

聞き取り予定人数：20人

4. 被爆者証言映像（国内・国外）の制作【資料2、P3参照】

○引き続き、被爆者団体等の協力を得て、国内及び国外で被爆者証言映像を収録し、館内の手記・体験記閲覧室やオンライン上で公開する。

○広島祈念館と連携し、関東・神戸在住の長崎被爆者について収録を行う。

○国外はこれまで、北中南米での収録を行ってきたが、他地域（欧州など）でも収録する。

(1) 収録数：九州地方在住被爆者5人程度、関東・神戸在住の被爆者3人程度（国内）
北中南米地域3人程度、欧州地域1人程度（国外）

(2) 収録者：被爆者団体等からの推薦、又は現地調査に基づき、収録者を確保する。

5. 被ばく医療情報の提供【資料2、P3参照】

○引き続き、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の協力のもと、被爆者を対象とした被爆者健康講話を実施する。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催不可だったが、今年度は、オンライン配信の取り組みなどを検討する。また、祈念館で実施した講話を録画編集し、長崎の地方放送局などを通じて、長崎県内地域を中心に

- 配信する。また編集した映像のDVD化を行い、貸し出し等を実施する。
- 開催回数：未定
- 引き続き、平和情報コーナー1において、開館20周年に向けて、展示の在り方について検討する。

6. 海外原爆展【資料2、P4参照】

今年度は、次のとおり候補地と調整を行っている。ただし、昨年同様、新型コロナウイルス感染状況によっては、被爆者の渡航は難しいと思料されるため、オンライン講話などの検討を行っている。

【令和3年度海外原爆展開催候補】

候補地	ビュルツブルグ市（ドイツ）
候補地選定の経緯	① 長崎市とビュルツブルグ市は市民友好都市提携を結んでおり、長崎に対する理解が深く、理解が得られやすい。 ② 核保有国が存在するヨーロッパで開催することで、核廃絶への機運を高めていくことができる。
概要	① ビュルツブルグ市（人口約13万人） 展示などを行う場所として、シーボルト博物館を考えている。 ② ビュルツブルグ市、シーボルト博物館を開設しているシーボルト協会が協力予定。
開催時期	2021年9月初旬～11月中旬（予定）

7. 被爆者証言映像、手記・体験記の多言語化【資料2、P5参照】

- 被爆の実相と被爆者の声を広く世界に発信するため、引き続き、英語、韓国・朝鮮語、中国語を中心として多言語化（翻訳・吹替え・字幕）を実施する。
- 当館で翻訳した被爆体験記をより活用するため、広島市・長崎市が企画実施するヒロナガ原爆展会場（開催地の言語：英語）で配布してもらうよう、ヒロシマ・ナガサキ平和アピール推進委員会へ依頼及び資料の提供を行う。

8. 平和ボランティア育成外国語講座【資料2、P6参照】

- すでに被爆の実相の知識を有する平和案内人を対象に実施することで、即戦力のある外国語ボランティアの育成をする。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン講座を実施する。

9. 被爆体験記の朗読事業【資料2、P6参照】

- 新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、感染防止対策を講じた上で、長崎市内外小中学校等への派遣、来館者を対象とした館内での朗読を実施するとともに、厚労省収集の体験記を読み込み、館内常駐朗読のための素材の開拓（編集作業も含む）を進める。
- 定期朗読会については、昨年同様、オンライン配信で開催する。その後ホームページ上

で、朗読の様子動画を掲載し、より多くの方に視聴してもらえようとする。

- (1) 館内朗読会：①定期朗読会年1回（祈念館交流ラウンジ等：オンライン配信）
②「9日を忘れない」毎月9日11:00～11:30 祈念館交流ラウンジ
- (2) 派遣朗読会：長崎市内外において、学校や一般の依頼に基づき、派遣して朗読会を開催する。
- (3) 常駐朗読会：毎週土・日及び祝日10:00～16:00
祈念館交流ラウンジにて、感染防止対策を講じた上で実施

10. 家族・交流証言者等の派遣および語学研修の実施【資料2、P7・8参照】

- 新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、感染防止対策を講じた上で、長崎市が養成している家族・交流証言者の国内派遣を行う。上記の被爆体験記の朗読ボランティアや被爆者ご本人も同様に派遣する。
- 渡航が難しいと思われる国外については、オンライン講話などの方法を検討する。
- また、国外とのオンライン講話実施等に伴い、英語ネイティブによる語学研修を実施し、スキルアップを図る。さらに今後、海外からの来館者に対して英語で実施できるよう、同様に語学研修を実施する。
- 円滑な派遣を実施するために、インターネットによる派遣申込システムを構築する。
※国内での派遣申込数：63件（令和3年5月10日現在）
※都道府県別数は別紙のとおり。

11. ピースネット事業の実施【資料2、P9参照】

- 被爆者の高齢化が進むなか、長崎に居ながら遠隔地に被爆者の声を届けることができるインターネット会議システムの特徴を活かし、引き続き、北海道や東北地方などの長崎に来ることが難しい遠隔地の学校等を中心に、海外の大学や海外原爆展のネットワークを通じて海外の都市とも積極的に実施する。
- 昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、修学旅行に来られない地域の学校、長崎市内や長崎県内の平和学習にも利用してもらおうよう周知を行う。
 - (1) 国内：30か所程度（長崎市内・県内：10か所程度、県外20か所程度）
 - (2) 海外：2か所程度

12. 国際協力・交流プログラムの実施【資料2、P10参照】

- 引き続き、国際的な平和ネットワークの構築を目的として、おもにアジアの学生などを招へいして行う国際協力・交流プログラムを実施する。メインプログラムとして、一昨年度実施した「Youth Conference in Nagasaki」を、長崎市が養成するピースボランティアを司会として活用するなど長崎市やRECNAとも連携し、さらに多くの若者らが参加する会議として実施する。
- 国際協力・交流プログラム
開催時期：令和4年2月頃を予定

参加者：マレーシア、韓国、中国、国内の留学生などとオンラインでセミナーを実施する。

13. 【新規事業】被爆の実相の伝承のオンライン化・デジタル化事業

○被爆資料等の追加調査や新しい資料の収集を行い、若い世代がリアリティを持って学ぶことができるオンライン化を通じた、デジタル教材、マニュアルの作成及び教育人材育成を、学術的な知見を保有する研究機関である長崎大学核兵器廃絶センター（RECNA）へ委託した。（令和3年4月23日に契約済）

14. 情報展示システムの保守・管理並びに展示整備基本構想の策定事業【資料2、P10参照】

○記念館開館20周年に向けての展示内容等を検討する。

これらの事業を実施するにあたり、新型コロナウイルスの影響により、実施が困難な場合も考えられるが、実施規模の縮小や時期の変更、オンラインでの実施等できる限りの調整を行って、事業をすすめていくこととする。

以上

	都道府県名	件数	家族・交流証言講話	被爆体験記朗読会	被爆体験講話
1	北海道	4	4		
2	青森県	2	2		
3	岩手県	0			
4	宮城県	0			
5	秋田県	1			1
6	山形県	0			
7	福島県	1	1		
8	茨城県	1	1		
9	栃木県	0			
10	群馬県	0			
11	埼玉県	0			
12	千葉県	2	2		
13	東京都	3	1	1	1
14	神奈川県	0			
15	新潟県	0			
16	富山県	0			
17	石川県	0			
18	福井県	0			
19	山梨県	0			
20	長野県	2	2		
21	岐阜県	2	2		
22	静岡県	1	1		
23	愛知県	2	2		
24	三重県	2	2		
25	滋賀県	0			
26	京都府	2	2		
27	大阪府	8	3	4	1
28	兵庫県	2	2		
29	奈良県	0			
30	和歌山県	0			
31	鳥取県	0			
32	島根県	0			
33	岡山県	0			
34	広島県	1	1		
35	山口県	1	1		
36	徳島県	0			
37	香川県	0			
38	愛媛県	1	1		
39	高知県	0			
40	福岡県	2	1		1
41	佐賀県	4	2	2	
42	長崎県	17	5	9	3
43	熊本県	1	1		
44	大分県	0			
45	宮崎県	1			1
46	鹿児島県	0			
47	沖縄県	0			
48	海外	0			
	計	63	39	16	8